

音声出力機能を有したオンラインアクセント辞書の構築

峯松信明(東大)・鈴木雅之(東大)・平野宏子(吉林華橋外国語学院)・中川千恵子(早稲田大)・
中村則子(慶応義塾大)・田川恭識(早稲田大)・広瀬啓吉(東大)

■背景と目的

学習者：日本語らしく自然に聞こえる発音を（できれば）身に付けたい。日系企業の就職にも有利か？

教育者：しかし現実問題として時間的制約がある。更に、効果的な音声教育法を模索する必要もある。

→必要最小限の教育・指導で大きな効果が期待できる音声（韻律）教育法の確立へ [中川ら'09]

フレージング（チャンキング）とポーシングに基づく自然なイントネーション生成に基づく発声法。

→個々のフレーズを，“より”自然にするためには，フレーズ内の単語アクセント制御の知識も必要。

日本語の単語アクセントはコンテキストにより変形する（アクセント結合）。

活用による用言のアクセント変形は規則性が比較的高いので，初級レベルからの教育も可能 [平野ら'11]

しかし，教科書に出現する全用言に対して，アクセント結合の様子を逐一説明するのは非常に煩雑。

→学習者&教師が必要に応じて随時参照できるオンラインアクセント（活用）辞書の必要性 [平野ら'09]

教科書ガイド版：用言のアクセント変形を，網羅的に確認できるツール／教科書に沿ったインターフェイス [平野ら'09]

任意テキスト版：任意テキストに対して用言を自動的に抽出し，その活用とアクセント変形を示すツール [小林ら'11]

→対象とする教科書の追加（合計7種類）／インターフェイスの大幅な見直し／印刷モードの搭載／掲載するアクセントパターンの厳重なチェック／全用言（3,562用言）の全活用（42,330活用）に対して，男女一人ずつの音声を取録&掲載

おっぴゃっど
OJAD

■Online Japanese Accent Dictionary (OJAD) のインターフェイスと機能

1. 様々な検索条件

教科書で検索する。
課題で検索する。
品詞で検索する。
単語の難易度で検索する。
旧能力試験の級で検索する。
単語そのもので検索する。

2. 様々な表示フォーマット

必要な活用形を指定可能

3. 品詞順の表示

第nグループの動詞，い形容詞，な形容詞の順で表示

4. 教科書間の連携情報表示

当該単語は各教科書の第何課で登場するのかの情報表示

5. 二種類の難易度表示

初～上級／旧能力試験の級

6. 教科書情報の表示

1クリックで出版社webへ

7. 印刷ページの表示

モノクロ印刷用にフォーマットし直したページへ移動

8. 語尾からの表示と核位置表示

日本語用言のアクセント変形規則の理解を助けるインターフェイス

9. 全活用の音声を取録&掲載

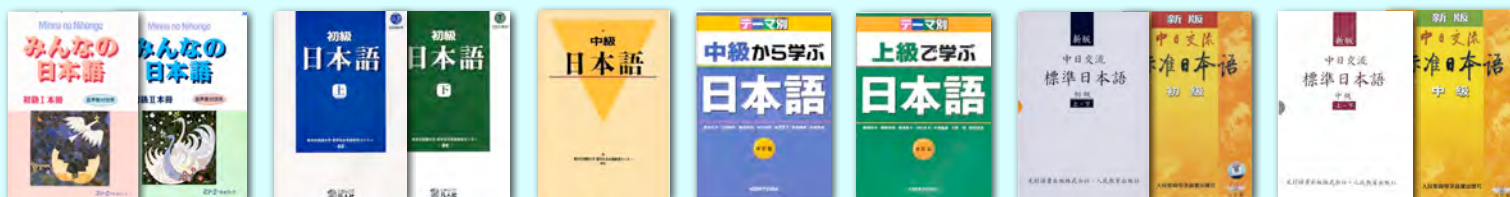
訓練を受けた話者による，約84,660の発声を掲載。

10. アクセントの揺れへの対応

特に形容詞についてアクセントの揺れも積極的に対応

<http://www.gavo.t.u-tokyo.ac.jp/ojad/>

■採択した7種類の教科書（各出版社・著者からの利用許諾は取得済み）



■今後の課題

任意テキスト版における同様の拡張（音声合成技術を用いた読み上げで対処する予定）

実ユーザからのフィードバックによるインターフェイスの改善／日本語教育が行なわれている各国内でのサーバ設置

フレージング&ポーシングに基づく日本語韻律教育との融合と効果的な音声教育法の確立